

# श्री रामायण







## BIG BAND CONCERT

10. 11. 1967. 都市センターホール

### ごあいさつ

本日はお忙しい中を御来場いただき、誠に有難うございます。東京六大学ビッグ・バンド連盟が'65年に結成されてより、バンドの相互の親睦を計ると共に技術の向上を目指して今年で3年目を迎えました。ビッグ・バンドは人数やその他諸々の点からも多数のバンドが一堂に会する事はなほだ困難な事であり、それにもかかわらず、より良い音楽を目指す者や自分達の音楽を披露する事を通じて会場の皆様と共に楽しもうとする者達の気持が強く表われ、昨年に続きコンサートを催す事が出来ました。これは私共にとり、この上ない喜びであります。ビッグ・バンドと申しましてもスウィングありラテンありモダンがあり、それぞれのバンドの個有の持ち味がありますのでどの方面をとりましても楽しいものです。今日はこの都市センターホールに中央・明治・早稲田・法政・日本・慶応の各大学が誇りとしていますビッグ・バンドが集っています。何分にも学業のかたわら練習し、今回のコンサートを企画致しましたので、お聴き苦しい点、行き届かぬ点が多々有ると存じますが、学生としてのプライドと誠意を以って、力一杯演奏したいと思いますので、どうぞ最後までよろしく御鑑賞下さい。

尚、今回コンサートを催すに当って惜しみなく御助力、御指導下さいました関係各位の皆様には、連盟一同と共に心から感謝申し上げます。  
理事長 平形 忠司

銀座のデートがグンと楽しくなります



彼女とデートの時間まであと30分

早めに待つのは男がすたる さりとて、

行くところはなし……オヤ、キミも経験者？

だが、11月11日 この日から

まっすぐ山野へ行こう

世界一の音楽の殿堂山野楽器

11月11日銀座4丁目にオープン……

斬新なアイデアを生かした夢のあるディスプレイ。ただ見て歩くだけでも楽しい。

ちょっと弾いてみたくなったら近くの係を呼べば万事OK。疲れたら心地良いチェアもある。

プロフェッショナルならモチロン

ビギナーも、ひやかしのキミにもデッカイ楽しさが欲しいまま。

待つのもまた楽し！

山野へ行こう。

《開店記念セール》11月11日～11月26日

ヤマノでミュージックデート



本店 中央区銀座四ノ二丁目 (有明) MOMI



出演.....BIG SOUNDS SOCIETY (明 治)  
 HIGH-SOCIETY ORCHESTRA (早稲田)  
 NEW ORANGE SWING ORCHESTRA (法、政)  
 K.M.P. NEW SOUND ORCHESTRA (慶 応)  
 RHYTHM SOCIETY ORCHESTRA (日 本)  
 SWING CRYSTAL ORCHESTRA (中 央)  
 LIGHT MUSIC SOCIETY (慶 応)

主催.....東京6大学 **BIG BAND** 連盟

本年度理事 慶応 LIGHT MUSIC SOCIETY  
 コンサート企画

デヴィスがやってきた!  
 錯覚ではありません  
 生の感激を再び味わって  
 ください熱狂と興奮が  
 あなたをつつみます

コーヒーはイタリーのバボニ  
 世界の通の常識です  
 ■毎週土曜(7時~10時30分)  
 各大学ジャズフェスティバル  
 ■毎週水曜(7時~10時30分)  
 山下洋輔トリオ



**JAZZ**  
**Oscar**  
**オスカー**  
 道玄坂百軒店テアトル渋谷隣り  
 TELEPHONE 461-5167

私共、明治大学ビッグ・サウンズ・ソサエティは結成以来7年目を迎え、8プラス、5リード、4リズムの典型的なビッグ・バンド編成に成長してまいりました。又、新たな意欲をもって躍進を期すべく、日夜努力を積み重ねております。

私共は、フルバンド界において、D・エリントンと双壁をなす、C・ペイシーをアイドルとして、主にそのナンバーを演奏してまいりましたが、最近ではクィンシー・ジョーンズ、メイナード・ファーガスン、ジョニー・グリフィン等の新しいものをも研究し、レパートリーに加えております。

どうぞ、このひととき、私共の“Big Sounds”な演奏をお楽しみ下さい。

## BIG SOUNDS SOCIETY

### MEMBERS

#### TRUMPET

高柳 昇  
 芝井 正興  
 中山 弘久  
 八木 徳久

#### SAXOPHONE

境 恒夫  
 高橋 一郎  
 川井 健夫  
 藤木 文夫  
 五十井 篤則

#### TROMBONE

中村 真一  
 上野 達也  
 程島 幸男  
 杉田 仁

#### RHYTHM

木沢 宏一  
 福江 義史  
 山本 治昭  
 斉藤 広昭  
 永森 公雄

### 曲 目

JUKSON COUNTY JUBILEE  
 FOR LENA AND LENNIE  
 PANIC ROOM BLUES  
 TEDDY THE TOAD

### MEMBERS

#### TRUMPET

熊谷 秀臣  
 十八日 義雄  
 田中 弘司  
 阿久津 真也  
 國友 忠

#### SAXOPHONE

小林 博  
 川合 修二  
 菅野 勝元  
 金田 邦通  
 鏡 幸次郎  
 楯 賀 健雄

#### TROMBONE

石川 義隆  
 額賀 彰義  
 相田 昌弓  
 高野 隆次

#### RHYTHM

山野井 善次  
 豊島 守司  
 大槻 鋼司  
 小西 潔  
 黒川 葉子

#### LATIN

河口 健三郎  
 岡崎 敏雄  
 小沢 明彦  
 秋山 晴俊  
 高家 重昭

## RHYTHM SOCIETY ORCHESTRA

結成以来16周年を迎えた我が日本大学軽音楽部リズム・ソサエティ・オーケストラは、その間、幾多の荒波を乗り越え今日フルバンドに成長してまいりました。昭和26年リズム・ソサエティ・オーケストラの前身であるタンゴ・バンドとして発足して以来華々しく活躍しておりましたが、昭和31年時代の流れと共に中南米音楽の開拓を志し、弦楽器に管楽器を加えた変則的編成のバンドに生まれ変わり、名称も、リズム・ソサエティ・オーケストラとなり、現在、東京においても学生唯一の、キューバスタイルのオーケストラとして活躍しております。

日本大学文化団体連合会の軽音楽部として春、夏の休暇を利用した演奏旅行、大学祭演奏会、ダンス・パーティー、その他各種の演奏会等の幅広い活動を行っています。

### 曲 目

I'LL SEE YOU IN CUBA  
 SE SI SI  
 AN AWUL LOT OF LIVIN' TO DO  
 JUST IN TIME



\*音楽を通して心の交流、人格の形成をはかる……、昭和35年6月スイングジャズを愛好する者同志によって発足以来、私達が抱き締けているモットーです。スイング・ジャズからモダン、そしてラテン・ミュージックと毎年レパートリーも広がっています。

過去、我々は、グレンミラー、テッド・ヒースそして昨年あたりはクインシー・ジョーンズの曲を手掛けてまいりましたが、今年はカウント・ペーシースタイルをとり入れています。昨年結成された、この関東大学ビッグ・バンド連盟の一員として、名実共に学生バンドのトップをゆくものとして日夜練習に励んでおります。

さあ……！ \*新鮮なオレンジ、の腕のさえ音のさえ(?)じっくりとあなたの \*鋭しい耳、でお聞き下さい。

## MEMBERS NEW ORANGE SWING ORCHESTRA

TRUMPET	平田 征 邦	松 村 健一郎	浜 口 雅 寛	桜 井 利 春	
SAXOPHONE	佐 藤 章	平 野 信 行	藤 本 孝 二	尾 泉 良 秀	橋 本 親 夫
TROMBONE	仁多見 武	二階堂 良一	蒲 谷 重 光	小 野 和 夫	
RHYTHM	横 山 慎 一	佐久間 慎一	坪 田 和 子	黒 田 宏	
LATIN	藤 原 望	長 田 豊	島 津 清		

### 曲 目

GO IN ON  
FROM RUSIA WITH LOVE  
FLIGHT OF THE FOO BIRD  
HAVANA SPECIAL

昭和27年吹奏楽部結成以来、その名を「ニュー・スワン・オーケストラ」より「スウィング・クリスタル・オーケストラ」と改め、メンバーは吹奏部の中からジャズに興味のある者のPic upにより17人で編成されております。

その学生らしい演奏ぶり、ダイナミックなサウンド卓越した技術は評論家諸氏から全国大学中トップクラスに位置するものと認められております。B・グッドマン、カウント・ペーシー等のSwing Jazzから新しいスタンケントン、クインシー・ジョーンズ等のモダン・ビッグ・バンドへとレパートリーを拡げさらにオリジナルを意欲を燃やしております。

### MEMBERS

TRUMPET	佐 藤 真 夫
	畠 山 信 一
	佐 藤 直 義
	北 村 章 雄
SAXOPHONE	佐 藤 秀 也
	大河原 三雄
	玉 井 俊 行
	神 山 誠 誠
	横 川 尚 幸
TROMBONE	萩 原 義 高
	田 島 康 雄
	矢 野 寿 郎
	加々見 仁
RHYTHM	緒 方 尚 紘
	森 田 憲 司
	中 村 稔

### 曲 目

SISTER SADIE  
WORK SONG  
LULLABYE FOR JOLIE  
AFTER YOU'VE GONE  
SWING CRYSTAL ORCHESTRA



J. C. に

君は暗い沖からやって来て  
街角のネオンの光に突然黒い背中を現わす  
そして魂の連絡所に向って急ぐ  
青い狂気の夜行列車だ  
君はオースチン・ヒーリーの  
スピードに達する為に  
君の肺臓を爆発させる  
荒っぽいギャングの完璧な叫びのように  
君のテナーサクスの熱い悲鳴は  
愛に飢えた窓々を震え上らせ  
槍の鋭さで ミステリアスの核心へと侵入する  
おゝ睡眠の鮮かな前ぶれ 呪術的バラード  
憂鬱で黒くなった Blues が不吉な何かを予言する  
君の頭は湧き立っている  
入り組んだ会話の奔流の中で  
君の表情は静まりかえっている  
地下鉄の瞑想のように  
そして  
鳥籠のように君の魂は天と地の間にさがる  
やがて  
太陽が君の幻想から滴り落ちると  
無リズムのソロが  
独房の夜を一気に貫く  
Giant steh は月下に踊る一本のネクタイであり  
『神の国』はそれによって「肉体からえぐり取った人生の詩の絶対的  
心臓」と共に歩き続けるナイフである  
Jよ!  
J. C. よ  
君の Love supreme は  
生と死に憑かれた永遠の Funk drive である。

東都随一を誇る

現代に生きる古典音楽喫茶の殿堂

優雅な雰囲気  
全輸入盤  
完全ステレオ装置

名曲・珈琲

丘

団体予約受付

カラーテレビ完備  
エヤークリナー完備

国電御茶の水駅西口前 (291)8741(代表)

SHIBUYA HYAKKENTEN  
AM11:30-PM11:00  
**BLACKHAWK**

あなたが御聞きにな  
りたいレコードがまたふえ  
ました 新しいステレオで  
御聞き下さい





# PICUP BAND

## MEMBERS

TRUMPET	池 昌夫(早) 大泉 治(慶ライト) 熊谷 秀臣(日) 平田 征邦(法)
SAXOPHONE	山口 真文(慶KMP) 大河原三雄(中) 佐藤 秀也(中) 菅野 勝元(日) 橋本 親夫(法)
TROMBONE	仁多見 武(法) 市浦 靖(早) 伊津野志里(慶ライト) 上野 達也(明)
RHYTHM	菅原 昭二(早) 中田 光輝(慶KMP) 福江 義史(明) 浜田 博史(慶ライト)
LATIN	木下 昭男(早) 藤原 望(法) 河口健三郎(日)



ビッグ・バンド連盟の目的は各バンドの親睦を計る事にあります。今日の様な催しには全員が一曲を一緒に演奏するのが理想的なのかも知れませんが、それは困難な事です。理想に近づけるのが最高であるという建前から昨年に引き続き各バンドのビッグ・アップ・メンバーによるフルバンドを編成してみました。各バンドの4年生を対象にして選んでみましたが足りない所は2、3年生から選びました。

10月23日に喫茶店に集り譜面を持ちより、あれやこれやと相談をして選曲しました。

練習は11月8、9日に中央大学をお借りしました。合同練習が少ない上に曲も比較的高度の技術を必要とするものもありますので、難点もありませんが、ごゆっくりお聞き下さい。

曲目はその時間まで秘密としておきましょう。又、今回は特別企画としてドラム合戦をお目にかけると思います。

ビッグバンドの中で一段と高台に乗り体全体を動かしているドラマー。或る時はソフトに又或る時は強烈に、その衝激を人の心に投げかけるドラムは何と言ってもバンドの花形でしょう。7台のドラム、7人のドラマーが織りなすリズムの饗宴です。

# DRUM BATTLE!!

## DRUMS

木沢 宏一(明)	菅原 昭二(早)	横山 慎一(法)	梅田 兼五(慶KMP)
小西 潔(日)	緒方 尚絨(中)	橋本 伸一(慶ライト)	





慶応が塾内外に誇りますビッグ・バンド K.M.P. ニュー・サウンド・オーケストラは12月9日に第7回目のリサイタルをひかえ日夜練習にはげんでおります。

各種コンサート、パーティ、さらにはテレビ・ラジオ等でおなじみの方もいらっしゃるかと存じますが、私達は常により高い音楽性、よりモダンなサウンドを追求し、学生らしい態度とともに各方面で好評を得ております。

又、私達はそのレパートリーにビッグ・コンボ・ジャズやアフロ・キューバン・ジャズをも加え、各々に私達の持ち味を生かして演奏しております。

本日のコンサートをどうか最後までごゆっくり、そして12月9日の夜、又、お会いしましょう。

## K.M.P. NEW SOUND ORCHESTRA

### 曲 目

CHARADE

WALKIN' SHOES

DREAMSVILLE

GEORGIA ON MY MIND

### MEMBERS

#### TRUMPET

戸田 宏  
板垣 憲  
渋谷 高弘  
星野 宏明

#### TROMBONE

小松 康弘  
米山 健次郎  
前田 新造  
吉本 豊

#### SAXOPHONE

山口 真文  
佐藤 悦郎  
中野 金弥  
小津 守守  
中山 宗之

#### RHYTHM

中田 光雄  
小松 晟  
梅田 兼五

#### LATIN

鈴木 啓式  
小島 真哉  
小井 董一  
井上 譲二

### MEMBERS

#### TRUMPET

池田 昌夫  
尾崎 知造  
真山 国昭  
中野 隆夫  
野宣 宏

#### SAXOPHONE

山下 善彦  
熊坂 賢次  
伊藤 博  
小島 啓次  
谷田部 三

#### TROMBONE

平子 勝昭  
市浦 靖  
斉藤 文三  
飯田 次郎

#### PHYTHM

菅原 昭二  
杉村 康夫  
尾崎 隆昌

#### LATIN

木下 昭男  
清水 英和  
渡辺 淳二

私達のクラブはかねてからの念願であったアメリカ合衆国での演奏旅行を成し遂げました。約1ヶ月 West Coast の各大学を訪問し、各地で大歓迎を受け多少なりとも日米親善に協力できたものと信じます。又昨年度の全国大学対抗バンド合戦に全国優勝をし部員一同最良の年と喜んでおります。

このような成果が得られましたのも皆様の暖かい御支援の賜物と存じこれからのこの成果をもとにより良いクラブを作り学生音楽界の向上に、より一層の努力を傾けようと思っております。

今後とも、この「ハイソ」を宜しく願い致します。

曲 目 IN A MELLOW TONE  
MY FUNNY VALENTAIN  
SAKURA SAKURA  
MACK THE KNIFE

## HIGH-SOCIETY ORCHESTRA

## KEIO LIGHT MUSIC SOCIETY

#### TRUMPET

小野 悠一  
大泉 治  
赤塚 安弘  
武藤 清次

#### SAXOPHONE

北山 正巳  
鈴木 啓之  
有賀 恒夫  
平形 忠司  
松村 明晴

#### TROMBONE

伊津野 忠里  
平山 伸  
今 与志雄  
西田 正義

#### PHYTHM

橋本 伸一  
西官 鬼太郎  
大地 達夫  
浜田 博史

### MEMBERS

慶応義塾が誇る、ビッグ・バンド「Keio Light Music Society」は昭和20年、他校に先がけて結成され、21年間をそのテーマ「You belong to my heart」と共に成長してまいりました。

これまでハリー・ジェームス楽団との共演や、TBS「大学対抗バンド合戦」のBig Band部門での優勝等の実績をあげてまいりました。

今後とも、幅広いレパートリーと共に、学生らしい真面目な態度を持ち、より良いジャズの研究に努め皆様の御期待にそいたいと思います。

曲 目 NASTY MAGNUS  
SHINY STOCKINGS  
BASICALLY BLUES  
DUM DUM

## ヤマハシヤ管楽器レンタル教室

## 楽器を借りて、レッスンを受ける

さて、吹いて見たいが  
楽器はないし……こんなあなたに  
日本楽器の管楽器レンタル教室は  
お好きな楽器をお貸し致します  
教室ではもちろん  
自宅へもお持ち帰りになり  
心ゆくまで  
管楽器の魅力をお楽しみ下さい

●管楽器の基礎を3ヶ月で学べます。なお  
更に上級のクラスに進むことが出来ます



フルート科

クラリネット科

トランペット科

アルトサクソ科

★入会金—¥500

★レッスン料—¥2,000

ヤマハシヤ 管楽器レンタル教室 ●渋谷センター(409)0093-4 ●吉祥寺センター0422(45)2944・1941

日本楽器渋谷店 渋谷区大和田町52 新大泉ビル(道玄坂中程) TEL(463)4221



## Big Band Stream

アメリカの風土にジャズというものが発生してからも60年以上も経つようになり、その基礎も次第に出来たように思われます。ラグタイム、ブルース、ニグロスピリチュアルなどを母体として発生したジャズが最初からオーケストラ編成であったはずはありません。リズムとメロディの簡単な組み合わせのコンボとして出発したわけです。始めのうちは、黒人の独占であった泥くさいジャズも、そのリズムの漸新さを白人に注目されるようになりました。ヨーロッパ的な音楽観念を身につけた白人は、リズムとメロディに黒人のように直観的なハーモニーをつけるだけでなく、音楽理論にあった和声をつかむことを始めたわけです。ニュー・オルリンズで起ったジャズはアメリカ中に飛火しました。シカゴ、ニューヨーク、それからウエストコースト一帯に広がり、さまざまなジャズバンドが1920年代には競いました。しかし、Big Band の必要性はまだその当時はありませんでした。

簡単な理由としては、楽譜の読める人が少なかったからと、Big Band の編曲というものに対する認識がうすかったからです。ジャズコンボが、ジャズシーンを埋めつくしていたのです。ところが、ジャズがダンスと結びついて来るに従って、一人の先駆者が現われました。フレッチャー・ヘンダーソンです。定説によれば、彼が、Big Band の創始者であるということになっています。今では半分位、伝説の人となってしまったヘンダーソンの影響はすさまじく、ホール・ルーム、ラジオなどを活動の中心とした Big Band が相次いで現われました。レコードで聞いたかぎりのそれらのバンドのスタイルはたいていデキシーランドジャズを拡大したようなスタイルで編成も今より小さく、まったくのダンス用バンドのようです。ベニー・モートン、アンディ・カークなどというリーダーが、バンドを組織



して活躍していたようです。1920年代の後半になって、ニューヨークに一人の巨人があらわれました。ご存知デューク・エリントンです。本名、エドワード・ケネディ・エリントンという彼はワシントン育ちハイスクール時代からバンドに加わり、卒業後間もなくニューヨークに進出し、黒人独得のカラーを打ち出し、名声を高めました。彼のバンドの特徴は必ず黒人の哀愁をテーマにしていることで、ほとんど彼自身の作曲したものを演奏しています。ピリー・ストレイホーンという貴重な編曲者と協力して出来たエリントン、ジャズはジャズの歩んだ一つの功績として永く残ることになるでしょう。1930年代になるともう一人の Big Band の巨人がカンサス・シティに登場しました。その名はカウント・ベイシーです。カンサス・シティ・セブンのいうめっぽうスウィングするコンボで始まったベイシー楽団は、そのスウィング感を売りものにして、リフスタイルの曲を沢山発表して、今でも、エリントンと同じく、Big Band 界の2大巨匠として大活躍しているわけです。

デューク・エリントンとカウント・ベイシーは別格のバンドとなってしまうのですが、たいていのバンドは経営的に困難な面が多く、それほど長くはつづかないものなのです。なにしろ人数が多いのですから、それ相応の収入がなければ、すぐに赤字になってしまいます。そこで1930年代からは、数多くのダンスバンドが登場して来ました。コンサートバンドよりはダンスバンドの方が収入が安定しているために、資金をかせぐためにダンスバンドをして、そのひまに商業でない仕事もしようとする試みも色々行われました。

しかし、やはりダンスバンドが全盛でした。ジミー・ドーシー、トミー・ドーシー、ベニー・グッドマン、グレン・ミラーなどが完全に主導権をにぎっていました。ジミーとトミーは兄弟でやっていたし、ベニー・グッドマンはそのサイドメンのなかに、後のリーダーとなる人達を沢山持っていました。またグレンミラーは、キラール・デイルスタイルという新しい編曲法を作り上げました。

第二次大戦が終るまでは、なにしろスウィング・ダンスバンド一辺倒だったのですが、戦争が終ると、不況になってバンドが解散しはじめました。ベニー・グッドマン楽団も解散しそのメンバーの中で、ライオネル・ハンプトン、ジーン・クルーパー、ハリー・ジェームスなどが、独立して Big Band を経営しはじめました。グレンミラーなきあとには、グレン・ミラースタイルをとるバンドも数多く出ました。ニュー・グレンミラーオーケストラは、そのままレパートリーを受け継ぎましたが、ラルフ・フラナガン、レイ・アンソニー、ラルフ・マーテリーなどが、グレン・ミラースタイルで登場し人気を博しました。一方戦後バップ (Bop) という名で呼ばれる新しいジャズがニューヨークを中心として発生しました。モダン・ジャズの誕生です。これは Big Band 界に新風を吹き込み、デイジー・ガレスピー・オーケス

トラが登場します。モダン・ジャズはウエスト・コーストに影響を及ぼして、スタンケントン楽団ウディー・ハーマン楽団を生み出しました。この2つのバンドは今に至る数多くのミュージシャンをその中で育ててきたことを見のがすわけにはいきません。ウディー・ハーマンは戦前からあって、ブルース (ジャズで言うブルースです) を演奏するバンドとして有名でした。戦後はファースト・ハード、セカンド・ハード、サード・ハードなどとメンバーを変えて、50年代までは全盛を誇りましたが、その後しばらく、編成を縮小していました。最近再び Big Band を組んで、スウィング・ハードという名で売り出して大変評判がいいバンドです。スタン・ゲッツなどもこのバンドにいました。スタン・ケントンはプログレッシブ・ジャズを創り出した人ですが、その中で編曲、作曲を担当した人たちが次々と、リーダーとなって、沢山のバンドが出来ています。ジョニー・リチャーズ、ウィリアム・ラッソ、ピート・ルゴロ、などです。またハイ・ノートヒッターとしてスタン・ケントンにいたトランペットのメイナード・ファーガソンも後にバンドを持ちます。ダンス・バンドも新しいスタイルを色々取り入れて来ました。グレン・グレイのように、昔のバンドのスタイルをリバイバルして見せているところもありますが、一般にモダンなスタイルに変化して来ています。レス・ブラウン楽団は、ベン・ホーマー、フランク・コムストック、マーティ・ペイチなどの優秀アレンジャーを使って白人好みのダンスバンドになったところもあります。その他異色としては、レス・エルガート、ラリー・エルガート (兄弟) というピアノを使わない Big Band、歌の伴奏で有名になったビリー・メイ、ネルソン・リドル、アルヴィノ・レイなど、一般にウエスト・コーストを中心にしたバンドが多くなりました。ダンスバンドとしてでなく、ジャズ・ビックバンドもウエストコーストジャズ時代には色々ありました。ショーティ・ロジャース、ラルフ・バーンズ、ビル・ホールマンなどです。1950年代にはウエスト・コースト・ジャズに代ってイースト・コーストジャズが盛んになり、新しい感じのバンドが、出て来ました。デイジー・ガレスピーやライオネル・ハンプトンのもとに働いていたクインシー・ジョーンズが自らバンドを結成して驚異的に新しいサウンドを生み出しバンド界全体に新風を入れました。モダン・ジャズのレパートリーを取り入れて、新しいハーモニーを多用したアレンジは、現在の Big Band の行き方に多くの影響を及ぼしています。一方ヨーロッパに目を転じて見ると、英国ではBBCのもとにテッド・ヒース、ジョニー・キーティングと2つのバンド、フランスではミシェル・ルグランリーダーのバンドがずっと健在で、今も意欲的に活躍しています。テッド・ヒースは日本で言えば #&b のようなバンドで、何でも器用にこなす Big Band のお手本のようなバンドです。ジョニー・キーティングはヒースのアレンジャーでしたが独立して、オリジナリティを出

しています。ミシェル・ルグランという人は、大変な才人で、ヨーロッパの感覚をジャズにうまく処理し、アメリカにない味を色々出しています。アメリカで、クインシー・ジョーンズに続くバンドとしてはジェリー・マリガンのコンサート・バンド、ギル・エヴァンス、メイナード・ファーガソン、ジジイ・グライス、オスカー・ペティフォード、などが挙げられます。

映画音楽で売り出した人もいます。ヘンリー・マンシニ、エルマー・バーンステイン、ラロ・シフリンなどです。オルガンのジミー・スミスのバックで売り出したオリバー・ネルソンなど。クインシー・ジョーンズも含めてですが、常設の Big Band を持っている人はとても少なく、たいていレコーディング用に、スタジオ・ミュージシャンを使って仕事をしている人が多いのは、ビッグ・バンドの経営のむずかしさをあらわしています。結局現在活躍している Jazz Big Band という、それほど多いわけではありません。名のあるリーダーと、優秀なアレンジャーを確保したバンド以外は皆、ダンスバンドとして普通は演奏しているのです。デューク・エリントン楽団がほとんどコンサート・ステージだけでバンドを維持しているというのは、実際大変なことだと思います。カウント・ベイシー楽団は、ニール・ヘフティ、アーニー・ウィルキンス、ベニー・カーター、フランク・フォスター、ビリー・バイヤーズ、クインシー・ジョーンズ、チコ・オフアールという一流中の一流アレンジャー、コンポーザーがひかえていて、ダンスとジャズの兼ね持ちのスタイルです。ウディー・ハーマン楽団も、楽団員の中に色々な若手アレンジャーがいて、助かっている形です。ナット・ピアース、ビル・チェイス、ラオール・ロメロ、ダスコ・ゴイコヴィッチ、ドン・イダー、などです。

最近売り出してきたバンドとしては、ジェラルド・ウィルソン、ドン・エリス、バディー・リッチ・ダンスバンドのスキッチ・ヘンダーソンなどが注目されます。これからの Big Band の傾向は、聞いていて楽しく、演奏しても面白いようなスタイルとなるのではないかと思います。





あとがき

本日は最後まで御鑑賞下さいまして、まことに有難う御座いました。  
 今年は会場の決定、日時の決定が遅かった為、諸事万端「忙しい」の連続でした。  
 プログラムの編集も、とうとう徹夜作業になってしまい、一段落ついた時のラーメンのおいしかった事。  
 Jazz Combo 全盛の折、Big Band Jazz の楽しさも共に「一人でも多くの方が共有して下さいましたら」と思っております。  
 なお、コンサート開催にあたり、関係各位の方々から、多大な御協力を戴いたことを、深く感謝致します。(T.H.)

大衆向中華料理  
**味の店**  
 富坂電停前 電(811)0608番



**NIHON UNIV.**  
 7th リサイタル  
**リズム・ソサエティー**

日時 11月20日 PM 5:30 開場  
 PM 6:00 開演  
 場所 大手町サンケイホール  
 チケット・前売券・当日売有  
 日本大学文化団体連合会内  
 TEL (262) 2271

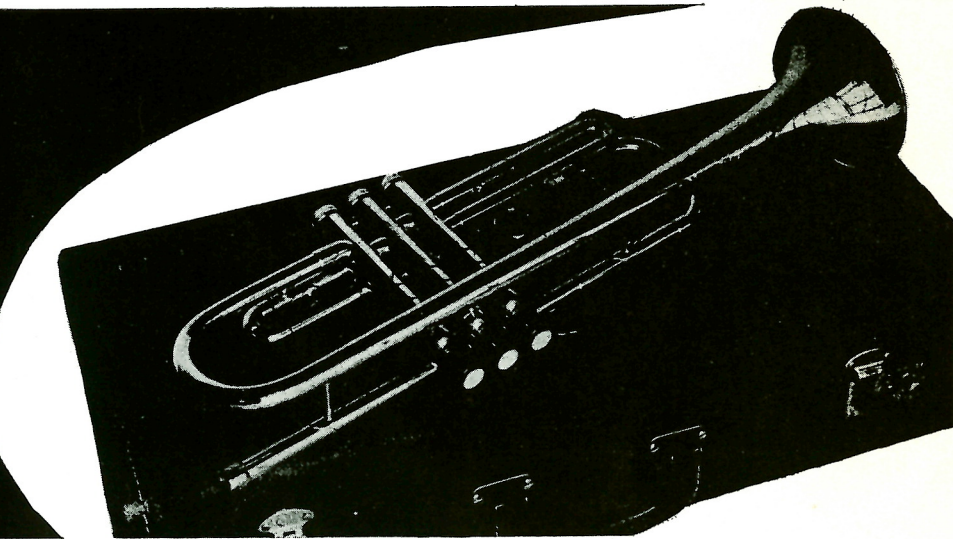


米国キング管楽器日本総代理店  
 独逸ハンス・クルエル木管楽器日本総代理店

**下倉楽器店**  
 東京都千代田区神保町2ノ2 TEL (263) 3351-3

米国コーン管楽器日本総代理店

**谷口楽器**  
 千代田区神田駿河台1の8  
 (明大正門前) TEL (291) 2711-3



<カタログ進呈>

**管楽器修理専門工場**  
 早く / 安く / よい

チョイ直しから  
 オーバーホールまでの  
 修理は  
 技術者揃いの下倉工業へ

管楽器製作・修理・販売  
 東京都千代田区神田神保町3ノ13  
**下倉工業株式会社**  
 TEL (262) 1665



**貸練習所のご案内**

- スタジオ面積・25坪
- 構造・地下、冷暖房完備
- 設備・グランドピアノ、譜面台、イス、ドラム、アンプ
- 特長・音楽(楽団及びソロからコーラスの練習に)
  - ・舞踊(踊り用の為にフロア15坪のスペースをブナ張り)
  - ・その他(発表会、演奏会のリハーサルに御利用下さい)

オルケスタ ティピカ トーキョ	前田美知子(タンゴ)
・早川真平・藤沢嵐子	吉村あき(ジャズ)
オルケスタ ティピカ パンパ	村上 進(ポピュラー)
・西塔辰之助	加藤よう子(スペイン舞踊)
オルケスタ ティピカ ポルテニア	
・坂本政一	

《東京音楽文化センター》  
 代表 松野正後 東京都港区芝明舟町11第11森ビル1階  
 TEL (501).9188・3977・3974